

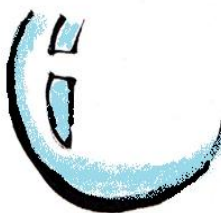
教育長日記（令和3年4月14日）

青い空に浮かぶ 白い雲 165

－人間性豊かに成長－

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

新しい教育のスタート



令和3年4月の校長会

教育長 話の概要

1. 子供たちと学校は、地域の財産であること、
2. 校長は、常に教育改革の実践者であること
3. 校長は、職員を育て、認め励ますこと
4. 副校長は、改革の実現に向けて校長を支えること
5. 教育者は、己の感性を磨き、子供の感性にも気づくこと
6. 教育委員会と校長会とは一つの組織にあり
7. この東大和市に誇りをもちましよう

転入者 校長

第二小学校	校長	大桃昌博	東大和市立第七小学校から
第七小学校	校長	下条知淑	小金井市立小金井第一小学校から
第一中学校	校長	立川 裕	神津島村立神津中学校から
第二中学校	校長	岩崎浩示	羽村市立羽村第一中学校から

転入者 副校長

第一小学校	副校長	中島 孝	清瀬市立芝山小学校から
第二小学校	副校長	松原貴志	東大和市立第八小学校から
第六小学校	副校長	高井 亮	東大和市立第七小学校から
第八小学校	副校長	鈴木進也	東大和市立第十小学校から
第十小学校	副校長	渡邊啓介	あきる野市教育委員会から
第一中学校	副校長	西当正敏	東大和市第三中学校から
第三中学校	副校長	新野健太郎	利島村立利島中学校から

卒業式から

三月十九日、中学校の卒業式、続いて三月二十五日、小学校の卒業式が終わりました。今頃は緊張しながらも新しい学びの場で、それぞれ新しいスタートを切ったことと思います。

後日、第九小学校の小須田校長がみえて「卒業式の式辞で、路傍の石を紹介し、自己の生命の尊さについて子供たちに話をしました。」と話してくれました。

「たった一人しかない自分を、たった一度しかない一生をほんとうに生かさなかつたら 人間は生まれてきたかいがないじゃないか」

一方、別の学校では、初めて五年生、六年生と担任し、卒業生を送り出した女性の先生、「泣きませんよ」と言っていたその先生が、職員室の陰で涙が止まらない。

別の学校では、再任用でこれまで何度も高学年の担任を引き受けてきた大ベテランの女性の先生も、その日が最後の担任でした。

電話の先の声は、いつもの声より澄んでいただけど・・・ほんとのことはわからない。

みなさん

ありがとうございます。

ま

